

## もっと木を使おう

いま森からつくられる森林資源(木質バイオマス)が見直されています。石油などの限りある資源のかわりに、地域で循環できる森の恵みを利用することは、放置された森林に人の手が加わり、地球温暖化を防ぐことにもつながります。

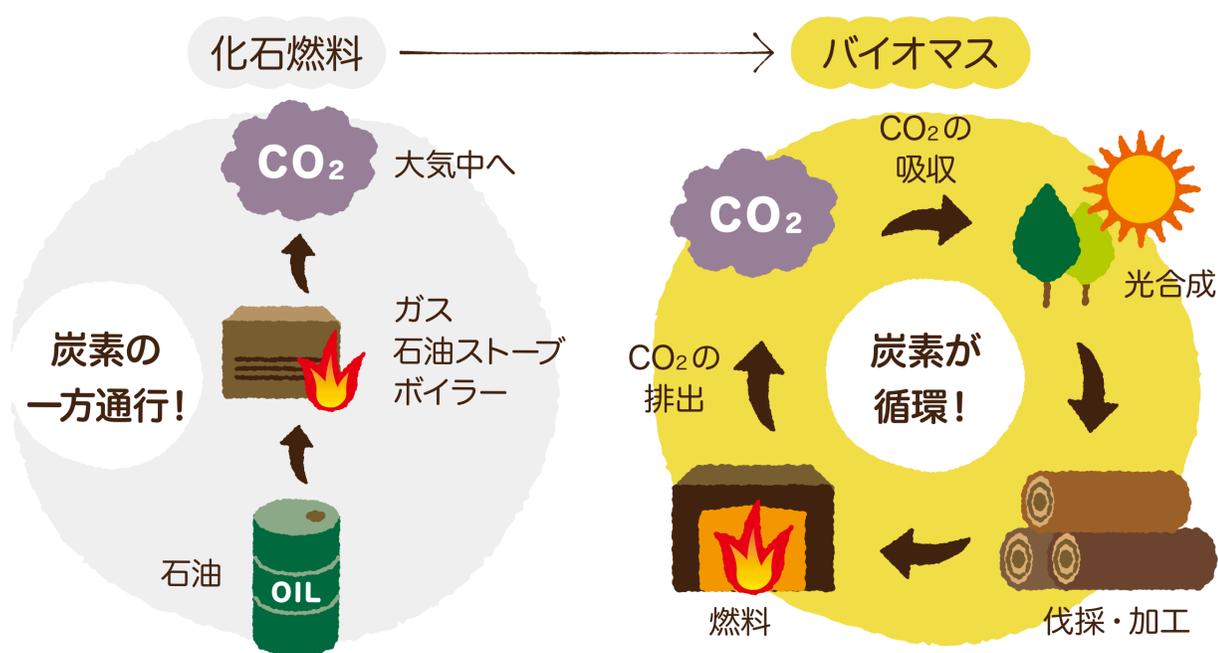
## 森は恵みのエネルギー

木は成長時にCO<sub>2</sub>を吸収するため、大気中のCO<sub>2</sub>の総量は増えません。(カーボンニュートラル※)

また、木は切って使っても数十年で再生が可能です。

※大気中のCO<sub>2</sub>がプラスマイナスゼロになることから「カーボンニュートラル」と呼ばれます。

### 化石燃料からバイオマスへ



### 木質バイオマスを使うことは、カーボンニュートラル!

石油やガスなどの化石燃料を使うと大気中のCO<sub>2</sub>が増えてしまい温暖化の原因になってしまいます。バイオマスを使えば炭素が循環するのでCO<sub>2</sub>は増えません。

他にも…

- 健全な森は水や空気をつくり、生き物の住み家となります。
- 安全・安心なエネルギーや資源で、災害時などの供給源になります。
- 農山村の活性化や、地域内循環により、新たな雇用や産業を生みます。

## 木質バイオマス利用いろいろ

木質バイオマスとは、木の幹や枝、葉など木が由来の資源のことを呼びます。エネルギーとして利用するには、燃やして熱や電気に変換するなど使いやすい状態にします。



他にも、化学反応をおこして液体燃料をつくったり、高度な利用方法もあります。

### 直接燃焼

燃やした熱で温風を利用

### ガス化

発酵してガス化し熱・発電利用

### 液化

自動車などの動力に利用

### 発電

熱電併給(コジェネレーション)システムもあり

※建築材や家具などの素材(マテリアル)利用は紹介が割愛しています。